

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 29 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'つくば真壁工業団地案内看板管理事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about sign installation and contract terms.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 26-30 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人件費) for 26-30 years, including a breakdown of expenses like national treasury, prefectural, and local funds.

Table showing the internal breakdown of business expenses (事業費の内訳) for 27 and 28 years, including categories like '14 使用料及び賃借料'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 years, including a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	つくば真壁工業団地案内看板管理事業	事務事業No.	50201000960	所属課	商工観光課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成4年に完成したつくば真壁工業団地の案内看板として市内3か所に設置されたことから事業を開始した。地権者とは5年ごとに契約を更新している。(直近は平成26年4月1日)
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 土地借上料に関しては、当看板に関わらず、全般的に見直すべきと市議会等で取り上げられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 つくば真壁工業団地の団地内企業による組合組織に管理を引き継ぐことを検討する。契約更新時に借上料見直しを提案していく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市内工業団地の認知度・利便性向上に寄与しており、市内企業の振興につながっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 他の工業団地の看板等については市が関与しておらず、またつくば真壁団地内企業のみ優遇するような形になっており、見直し余地はある。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 看板があることにより、つくば真壁工業団地の認知度や取引企業との物流の活性化や利便性向上が期待でき、ひいては立地企業の売上高向上、従業員の確保にも良い影響があると言える。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 つくば真壁工業団地の認知度が低くなり、団地内空地を検討する企業へのイメージダウンや利便性の低下が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 具体的な手段、事務事業名 つくば真壁工業団地管理組合での事業 市内の工業団地には入口看板を団地内企業でお金を集めて管理している所も有るため、管理を団地内企業の組合組織に引き継ぐことで、事業廃止ができる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 契約更新のたびに借上料の引き下げ交渉は行っているが、同意を得られていない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象は特定の工業団地のみに限定されており、公平性に疑問は残る。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 合併前に始まった事務であり岩瀬・大和地区の団地では同様の事務は行っていないため、公平性という点で疑問は残る。また、借上料の見直しは今後の課題である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今まで20年以上市が負担していた費用を団地側に引き継いでもらうことの理解が得られるかどうかの懸念がある。借上料の見直しは、既に看板が設置してある状態で簡単に撤去できないため、相手方の同意を得ることが難しい状況。借上料の早期の引き下げは難しいが、費用負担については今後立地企業側に相談することで改善できる可能性はある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---